

第 84 回日本歯科理工学会学術講演会報告

令和 8 年（2026 年）4 月 18 日（土）、19 日（日）の両日、第 84 回日本歯科理工学会学術講演会が、日本大学松戸歯学部歯科生体材料学講座教授 谷本安浩先生を大会長として、東京都江戸川区のタワーホール船堀にて開催された。日本大学松戸歯学部が担当するのは平成 17 年の第 45 回大会以来であり、同会場での開催は今回で 10 回目を数えた。本学術講演会では、一般講演（口頭発表）15 題（内 4 題研究奨励賞選考対象）、ポスター発表 62 題の計 77 題の研究発表が行われた。また、特別な試みとして、4 月 17 日（金）に同施設にて「若手研究者 学術交流会」が開催された。本交流会では、鶴見大学歯学部歯科理工学講座教授 廣田正嗣先生をモデレーターとし、17 名の若手研究者が自身のキャリアや研究経験をもとに話題提供を行い、次世代研究者の活発な交流の場となった。

1 日目は、午前に研究奨励賞応募口頭発表およびポスター発表が行われた。お昼から午後にかけて各地方会役員会ならびに定時社員総会・会員総会が行われた後、株式会社アシックス常務執行役員 西脇剛史先生を講師に招き、「スポーツシューズの科学と化学」と題した特別講演が行われた。ランニングシューズのミッドソール構造設計や相反する機能を両立させる材料開発など、本学会の趣旨に相通じる有意義な内容についてご講演を頂いた。特別講演後には口頭発表が行われ、夕方からは同施設イベントホール（瑞雲・平安）にて懇親会が開催された。懇親会では、新たに日本歯科理工学会理事長に就任された服部雅之先生のご挨拶に始まり、歓談中には研究奨励賞ならびに企業賞の授与式も執り行われ、学会参加

者同士の親睦を深める貴重な時間となった。

2 日目は、午前の口頭発表およびポスター発表に続き、ランチョンセミナーおよび Dental Materials Adviser/Senior Adviser 特別セミナーが行われた。株式会社ジーシー R & D 研究所レジ接着材料開発主任研究員 庄司拓未様より「株式会社ジーシーにおけるレジ系接着材料の開発」と題しご講演をいただいた。メーカー研究員の視点からの最新技術や製品特性等の解説に、多くの参加者が熱心に耳を傾けていた。午後からは、日本接着学会との共催で学会主導型シンポジウムが開催された。東北大学大学院歯学研究科生体材料理工学分野特命教授 岡田正弘先生をモデレーターとし、神奈川歯科大学歯学部クリニカル・バイオマテリアル学分野教授 二瓶智太郎先生、東京科学大学物質理工学院材料系教授 扇澤敏明先生、兵庫県立大学大学院工学研究科化学工学専攻教授 岸 肇先生にご登壇いただいた。歯科医療における接着用材料の現状と課題を整理するとともに、架橋系ポリマーブレンドなどの接着に関する最新の科学技術に基づく将来的な可能性について、活発な議論が展開された。シンポジウム後には口頭発表が行われ、最後に、次期大会長である徳島大学大学院医歯薬学研究部生体材料理工学分野教授 濱田賢一先生より、第 85 回学術講演会へのご案内とご挨拶をいただき、全日程を終了した。

今大会も多くの演題発表をいただき、多数の会員の皆様にご参加いただけたことに心より感謝を申し上げます。また、ランチョンセミナーや展示、広告、協賛として多大なるご支援を賜りました企業の皆様にも、厚く御礼申し上げます。末筆ながら、会員の先生方の今後益々のご活躍とご健勝を祈念して、第 84 回学術講演会の報告とさせていただきます。

永田俊介

（日本大学松戸歯学部歯科生体材料学講座）



若手研究者 学術交流会



学会主導型シンポジウム